

## 会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 令和4年度第1回臨時会
開催日時	令和4年6月24日（金）午後2時30分から4時まで
開催場所	イングビル3階 4会議室
出席者	委員：島会長、鈴木副会長、上田委員、緒方委員、柴田委員、福土委員、 山辺委員、東山委員（欠席）長谷川委員、野崎委員 事務局：徳山館長、湊山副館長、金本庶務係長
傍聴者	0名
議 題	第1 諸報告 第2 令和3年度西東京市図書館事業評価について 第3 その他
会議資料 の名称	資料1 : 令和4年度西東京市図書館協議会 日程（修正版） 参考資料：令和3年度西東京市図書館事業評価（案） 参考資料：令和3年度第4回・令和4年度第1回会議録（案） その他 : 「卒業する皆さんへ」カード チラシ「西東京市写真発掘隊」 チラシ「SDGsと多文化共生」 「図書館だより」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>第1 諸報告（館長より）</p> <p>1 3月に中学3年生に贈った「卒業する皆さんへ」カードについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お配りした黄色いカードは、昨年度初めての試みとして中学校の卒業生に配ったものです。子ども読書活動推進計画策定懇談会で「子どもたちは長い文章は読みません」という話もあり、スマホを持っているであろうということで、言葉を最小限にしてQRコードを載せました。</li> <li>・ このカード配布については、校長会を通して説明し実現したもので、中学校長先生には感謝しています。</li> <li>・ いろいろな方からのご意見や学校の先生方をお願いした簡単なアンケートを踏まえて、今後は内容や形態等を考えていきたいと思います。YAサービスで作成している「CATCH」の共同編集の若いメンバーにも意見聴取していきたいと考えています。</li> <li>・ 委員の皆様からもご意見やアドバイスをお願いします。</li> </ul> <p>2 6月議会での図書館に対する質問について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「電子図書館の進捗について」質問がありました。昨年の12月議会では、「多摩26市の状況報告と導入している自治体への調査としてアンケートを取っている」ことを回答しており、今回は「現在その結果を集計・分析しているところで、検討を進めている」と回答しました。</li> </ul>	

### 3 西東京市学習支援検討部会 施設でのアンケートの実施について

- ・ 西東京市子ども施策推進本部設置要綱に定める部会として「学習支援検討部会」があり、子どもへの学習支援等に関することを調査検討する部会です。
- ・ 部会メンバーは、子ども家庭支援センターや子どもたちが集まる学校や児童館、図書館・公民館等、子どもに関わる施設の担当課長が集まり、「子どもために何ができるか」、「子どもたちの声を聴くにはどうしたらよいか」などについて検討しています。
- ・ そこで今回、「学校が終わった後など、どこが子どもたちの居場所になる傾向があるのか」について、生の声を各施設の特色に合わせた方法で聴こうという話になり、「子どもが集まる場では何ができるのか」を考えることにつながるアンケートを行っています。
- ・ 学校には、学校に依頼してアンケートを行っています。
- ・ 図書館では、ちょうど今全館で「図書館のすきなところは？」と「図書館のほかに、すきな場所やたのしくすごせる場所はどこですか？」の二つの質問の回答を付箋に書いて貼ってもらう形で、今月いっぱい調査しています。
- ・ 田無公民館の学習コーナーや保谷駅前図書館の学習室を使う学生にもアンケートを行っています。
- ・ 図書館に限らず、市全体で取り組んでいる事業になります。

### 4. 教育計画策定懇談会委員について（報告とお礼）

- ・ 会長からみなさまにメールが届いたと思いますが、今年度から教育計画の策定を行うにあたり、図書館協議会メンバーから1名教育計画策定懇談会委員の選出依頼がありました。全員一致で副会長を選出し、教育委員会に報告しました。

#### 諸報告について質問等

##### ○会長：

- ・ 卒業生へのカードについて、アンケートをとっているとのことでしたが、どのようなものでしょうか。

##### ○館長：

- ・ 卒業生ではなく、学校の担任などの先生に向けてアンケートをとり、カードを配った時の生徒たちの様子、どういう形で渡したか、反応はどうだったか等の状況やご意見をたずねたものです。まだ集計はできていません。
- ・ 来年度も、バージョンアップして続けていきたいと考えています。

##### ○委員：

- ・ 子どもの居場所のところで、関係課長の学習会のお話がありましたが、集まる背景には、何かあったのですか。

##### ○館長：

- ・ 前館長の時からこの部会があり、令和3年2月1日に子ども施策推進本部で決めた内容に子どもの居場所と学習支援の取組方針ができました。
- ・ 第2次総合計画の後期計画に子どもの居場所の充実という目標があり、子育てワイワイプランなど子供に関する施策がいくつかあるので、それを元を取組方針として何をするのかとなり始まりました。
- ・ 既存の施設で「子どもたちの居場所とか学習支援の充実をはかる」とか「学習支援機能の導入」や「新たな協働による居場所を作り出す」ことについて、関連の部署の実態を話し、どうやればいいとか横の連携をどうする等の話を年に2～3回くらい学習支援検討部会で行ってきました。
- ・ 最終的には子ども施策推進本部に報告し、今年度で一旦閉じる方向ですが、関わる課が共通認識を持つための集まりと聞いています。

- ・ 子ども条例もでき、「子どもど真ん中」という市長の施策があり、「図書館計画」も「教育計画」もこれから策定されるすべての計画は、「子どもたちの生の声を聞く」ことが必須になりました。

○委員：

- ・ 子どもの居場所という第一に思い浮かぶのが学童保育なのですが、そこがメインになるといった話はないのですか。

○館長：

- ・ 学童クラブはそこに入るための要件があり、入らない児童とか卒業した子どもたちの中で、家にいられないお子さんも実際に増えてきています。
- ・ ゆっくり家で勉強ができない彼らがどこで勉強するのかといった時に、市として何ができるかということです。

○委員：

- ・ 「人生の楽園」というテレビ番組で、東久留米市にボランティア的に駄菓子屋さんを開設した方の取材がありました。ここにいろいろな子どもたちが集まってきているようですが、西東京市ではこういったことをやっているところないのですか。

○委員：

- ・ ヤギサワベースというのがありますね。柳沢駅前商店街で空き店舗を借りて駄菓子屋さんをやって子どもたちを集めています。

○館長：

- ・ 地域や学校によっては、学校応援団とかおやじの会など、PTAや保護者の方などの組織で地域との連携がうまくいっている所があります。メンバーにたまたまそうした活動が得意な市の職員がいて、地域と学校と市それぞれが持っている情報を合わせることで地域の人をつなげていこうとしている例もあります。
- ・ 子ども食堂もそのひとつです。

○委員

- ・ パソコンとかシステム教育で、ビジュアルプログラミングを無料で教えるところが田無とひばりが丘にもあったと思います。機器を用意して、子どもたちが勝手に集まってプログラミングして機械を動かすといった所だと思います。
- ・ 府中市では数年前にNPOによる小中高校生の居場所でパッソという名だったと思いますが、クラウドファンディングでお金を集めて内装工事をして子どもたちを集めています。ICUや外語大や農工大の大学生が来て勉強を教えています。
- ・ 西東京市では、まだそこまでのものは聞いたことがないですね。

○委員：

- ・ 最初のコンピュータの方ですが、図書館でも、そういう物を導入して機械的技術的なことでつながりを作っていくなどということが、考えられるかもしれませんね。
- ・ 三鷹駅の南側にファブスペースがあって、どこが運営しているのか分かりませんが、3Dプリンターなどを置いてやっているみたいでした。

○委員：

- ・ 世田谷とかにもあるようですね。実は私は、小学生のビジュアルプログラミングに合わせた企画をやってみようとしたのですが、コロナで実現していません。
- ・ 公共施設でそういうのをやろうとしているところも確かにあるようです。従来の補習的なものだけでなく興味を持たせるようなものやテーマがあるとよいと思います。

## 第2 令和3年度西東京市図書館事業評価について

○館長：

- ・ お配りした「令和3年度西東京市図書館事業評価（案）」について、図書館から説明

し、やり取りをしながら委員の皆様にご理解いただければと思います。私の方で読み上げる形で進めます。

<基本方針1> 一館長読み上げ

○委員：

- ・ 資料を中央から各館に移し、その後中央に戻した時にクレームなどはなかったですか。

○館長：

- ・ 地域館に移した本を置く時、その館の書架に紛れ込ませたのではなく、中央の本であることをわかるように書架を分けたり、ブックトラックに置いたりして、休館中の中央の資料と分かるように表示していたので、クレームは聞いていません。

○委員：

- ・ 基本方針1の①と③以外の評価はどうなっているのでしょうか。

○館長：

- ・ 基本的には、1年の間に全項目の事業を行ったので、図書館内部では、反省を含めて担当で評価をしています。今回の事業評価の項目としては、中央図書館休館ということでこの2つを選んでいきます。
- ・ 以前は、協議会に全て評価していただいていたのですが、項目が多く時間がかかることもあり、図書館が選んだ各年度の重要な項目について評価をお願いしています。

<基本方針2> 一館長読み上げ

○副会長

- ・ 昨年度は多言語、多文化講演会のアンケート結果がありましたが、今回はないのですか。

○館長：

- ・ 多文化の方は、アンケートは取っていると思いますので、載せるようにします。
- ・ アイヌ文化を知る講座は、早くに人が集まり締め切りました。
- ・ にほんご多読ワークショップは10名となっていますが、コロナの影響で海外から西東京市に住む方がなかなか来られなかったこともあり、日本語を母語としない方と触れ合うチャンスがあまりなかったと聞いています。
- ・ その中でも少しでもその方たちへの支援ができるように、支援をする方たちのために図書館にある資料を知ってもらうこともでき、これまで残念ながら情報が浸透してなかったということにもなりますが、こういう支援で広がるということが新たにわかったところもあります。失敗からのリカバリーも考えて行きたいと思います。

○副会長

- ・ 市のシニアボランティアとはどういうものですか

○館長：

- ・ 令和2年の調査で手元に資料がないので、確認してメールで修正したものを送ります。

○副会長：

- ・ アンケート結果は人数だけでなく、内容も知りたいです。

○館長：

- ・ 配布資料中の図書館だより86号、84号には講演会の内容が載っていますので、こちらもご覧ください。

○委員：

- ・ 取組成果2の5行目、人物 ⇒方がよい思います。
- ・ 課題改善点の「日本語を母語としない人に向けた取組」とは、何を言っているのかわか

らないです。多言語おはなし会はやっていますよね

○館長：

- ・ 実際の参加者は、日本語を母語とする親子が多く日本の方がメインであるのでこの表現になったと思います。

○会長

- ・ 聞きに来る人に、日本人が多いということですね。

○館長：

- ・ いろいろな方に来ていただきたいのですが、読み聞かせをしているのは、その言語を母語とした方です。日本の人にそうした文化を知ってもらうことも大事ですが、もう一つとしては、日本語が母語でない方にも来ていただきたいのですが、集めるのがなかなか難しいです。そこが課題としてあるということです。

○委員：

- ・ 届かないのですよね。

○副会長：

- ・ ターゲットにしている言語について、検索した時にポンとつながるようなタイトルになっていないとすごく難しいと思います。ホームページからたどり着くまでハードルが高いのだと思います。

○館長：

- ・ おはなし会は、「広報西東京」に載せていて、「広報西東京」は多文化共生センターが英語版などの言語で翻訳したものを出していて、その中に載せてもらっています。
- ・ 図書館もなるべくやさしいにほんごでお知らせをしています。図書館ホームページでは、多言語では利用案内などがありますが、こういうお知らせなどはなかなか追いつかないところもあります。

○副会長

- ・ 3年前の経験ですが、柳沢図書館のおはなし広場に参加させてもらっていた時に、継続してきていた地元の学校に通う中国からきた坊やが、お友達と普通の日本語のおはなし会をたのしんでいました。
- ・ お母さんが中国の方で、おばあちゃんと来ていた子もいました。
- ・ おはなし会を楽しむ文化があるということをうまく伝えることも大切だと思います。
- ・ 柳沢公民館では、多言語の行事をたくさんやっていて、そこにフィリピンの方とか来ていた時もあります。
- ・ お一人いらしていただくと、ロコミでお友達も連れてきて楽しんでくれたことがあるので、そのようにつながれば広がると思います。児童館とか学校とか、お母さんが立ち寄る場所にいろんな案内があるといいかもしれないですね。

○委員

- ・ 一緒につれていってあげるような人がいるとよいのではないのでしょうか。

○委員

- ・ 「今後は」がどの事業につながるのでしょうか。おはなし会ですか、それとも企画展示と両方ですか。長い説明が、こんな1行でいいのかというところです。

○委員

- ・ 情報提供と参加しやすい環境づくりこの2点ですね。

○副会長

- ・ 中身をもう少し書いていただければ、やろうとしていることがわかる気がします。

○会長

- ・ それぞれコミュニティをもっていないのでしょうか。

○委員

- ・ なかなか難しいです。あるようでないような、やはり圧倒的に人数が少ないので、特に

フランス語で読み聞かせと言うときにフランス人、それも子育てしている人が何人いるかということです。なので、あまりこだわらなくても、多言語の響きを楽しむ、日本人であってもです。多言語を否定しない状況がみんなの間に醸成されていけばいいくらいのつもりで

- ・ おはなし会などは15分くらいなので、仕事を休んで、遠方からわざわざ出かけるのは難しいです。
- ・ 柳沢公民館の子育ての講座は金曜日の午前中にやっているの、そういうところに図書館が出張していくこともできるかもしれませんが、メンバーに読み聞かせの得意な人がいるので既にやっていますよね。
- ・ 母語を大切にするというメッセージは、常にお母さんたちに送っています。努力は続けていただきたいですけど、外国出身で子育て中の親子がたくさん集まる状況ができるとは思わない方がいいという気がします。

○委員：

- ・ 出張してくれるといいですね。

○委員・副会長：

- ・ 取組成果2の「東洋経済～～在職際」は要らないと思います。

○委員：

- ・ 「より地域に根差し」は地域差があるということですか。高齢者が多い地域だからそういう資料を多く置くのですか。また書架構成はどんなものですか。

○館長：

- ・ シニア向けの本だけでなく、市が出しているパンフレットなどを図書と一緒に置くということです。図書館だより84号にあるように、分類もジャンルもこれまで多すぎてかえって分かりにくくなっていたので今回変更しました。

○副会長：

- ・ 「地域に根差し」は目標には書かなくてもいいかもしれません。

○館長

- ・ 見直します。

○会長

- ・ シニアコーナーの分類は、日本十進分類法から切り離すということですね。

<基本方針3> 一館長読み上げ一

○委員：

- ・ 地域・行政資料室見てきました。明るく入りやすくなりました。

○会長：

- ・ 課題改善点の芝久保以下の文章長いので分けるといいでしょう。

<基本方針4> 一館長読み上げ一

○委員：

- ・ 改善点の「予定していた形での実施には至りませんでした」の部分は何を予定し何ができなかったのでしょうか。

○館長：

- ・ おはなし会が中止となり、講演会は延期後実施、パネル展は実施です。

○委員：

- ・ 一部実施に至らなかったが、できたということで通じるのではないのでしょうか。

○副会長

- ・ イベントについては、計画に関わった市民にも声をかけてほしかったのです。お話がな  
いままパネル展がありますというところから連絡が来て、伺ったらもう講演会も実施す  
ることになっていました。
- ・ パネル展も保谷駅前公民館でだけとのことだったので、それもお話して、他館も巡回し  
ていただけることになり良かったと思いますが、5年後にこの計画が策定される時  
イベントは周知と共に関わっている団体が様々な形で協働するチャンスでもあるので、  
交流や協働ができればよいと思います。コロナは理解していますが、5年前はよく話し  
合ったので、今回ももう少しやりようがあったと思います。

○館長：

- ・ 副会長のご意見は、図書館の自己評価・今後の課題改善点に入れてよいということとし  
ょうか。

○副会長：

- ・ はい。あと図書館だより85号には、ほかの団体のパネルも載ると良かったと思います。

○会長：

- ・ 成果の「渡辺氏」はフルネームが良いです。
- ・ 目標の「YA世代」は、西東京市では何歳を想定しているか対象年齢を入れると良いと思  
います。
- ・ YA世代の貸出はわかりますか。

○館長

- ・ 統計の年代別は、分け方はYA世代とは違います。貸し出しはわかりませんが登録人数  
はあります。  
  - ◇ R2年度 中学生は 913人 16-19歳 1337人 (コロナ休館があった年です)
  - ◇ R元年度 中学生は 1413人 16-19歳 1858人
  - ◇ 事業概要の数字で、昨年度分は現在作成中です。

○副会長

- ・ 「チェキ」という説明は要らないですね。

#### <基本方針5> 一館長読み上げ一

○会長：

- ・ 「生かし」は「活かし」ですね

○委員：

- ・ 武蔵野大の内部事情はここまで細かく書かなくて良いです。
- ・ 新型コロナウイルスの表現は全体で統一すると良いでしょう。
- ・ 「改善」は、最後「生かしていきたい」くらいが良いのでは。

○委員：

- ・ 「多くの質問感想」について、内容を入れると繋がりが分かり易くなります。

#### <基本方針6> 一館長読み上げ一

○副会長：

- ・ 何故、B評価なのでしょう。

○館長：

- ・ 休館のPRが浸透しなかったこと、臨時窓口の案内をしていたが、本を置いていないた  
め残念な思いをさせたこと、1年間使えない本を読みたい人もいたこと、一番大きい館  
が休むことの影響は利用者にもやはり大きかった点です。

○会長：

- ・ 常連の利用者以外に伝えることは難しいです。
- 館長：
  - ・ 高齢者の方で、1年間全く使わなかった方もいました。
- 委員：
  - ・ では、そのようなことを書いてもらった方がわかりやすいです。
- 委員：
  - ・ 目標に対してはAで良いのではないですか。
- 委員
  - ・ サービスの継続の部分で満足できない人がいたことでBにしたということですね。
- 会長：
  - ・ 「書架がないことで」は意味がわかりにくい。
- 副会長：
  - ・ ここに来ても窓口だけで本棚がなく本が選べないということですよ。この書き方では確かに意味が分かりにくいですね。
- 館長：
  - ・ 修正した上で、メールします。各委員の皆様にもう一回読んでいただき、ここで気づかなかった点があれば質問していただき、また回答します。
  - ・ 次回7/22までのスケジュールは、
    - ◇ 6/30 (木) 事務局⇒委員の皆様へ 修正案送信
    - ◇ 7/7 (木) 委員の皆さま⇒事務局あて 質問〆切
    - ◇ 7/14 (木) 事務局⇒委員の皆様へ 質問に対する回答を送信
    - ◇ 7/21 (木) 委員の皆さま⇒事務局あて 各項目の評価〆切
    - ◇ 7/22 (金) 皆様の評価一覧を協議会の会議の場で渡します。
- 会長：
  - ・ 評価について、各項目についてここに書いて、最終的にまとめることにしましょう。

### 第3 その他

- 会長：
  - ・ 委員さんから資料の提供があります。
- 委員：
  - ・ 以前から図書館をお願いしている市民が持っている写真について、その写真に何が写っていてどの時代に撮られたものなのかを調べて収集してくれないかというのですが、実は民間の方で先に始まっていて、そのご報告です。
  - ・ フェイスブック上で集うグループで、「西東京市写真発掘隊」が始まり、私も入っているのですが、メンバーは今日現在132人います。
  - ・ 主に昭和の写真を説明付きでネット上にあげて、時代と背景などわかることをアーカイブしていこうという取り組みです。
  - ・ インターネット上のことなので、アナログの部分の貴重な写真については、やはり図書館なり市役所でやっていただき、2本立てで進むのがいい形なのかなあと考えています。
  - ・ もう一点、いよいよ中央図書館で国立国会図書館デジタルコレクションのプリントアウトができるようになるということで、勝手なお願いなのですが、国立国会図書館に遠隔で依頼した時と同様に白い用紙を使ってもらいたい。
- 委員：
  - ・ 国立国会図書館の紙の方が質が良く、白さが違います。
- 委員：

- ・ 西東京市と比べると国会はハイホワイトで、特に昔のデジタル化された資料を印刷すると差がつかます。二度手間でも西東京市で印刷したものを自宅のプリンターでハイホワイトの紙にもう一回プリントしています。そうでないと読み取れない資料もあります。

○委員：

- ・ 役所はグリーン購入にのっとっていますが、国立国会図書館の有料複写は、グリーン購入によらない白い紙を使っている部分があるのかもしれない。

○委員：

- ・ プリンターに入れる紙を変えるだけだと思いができないのでしょうか。値段の問題か。

○庶務係長：

- ・ 白色の方が値段は安かったりしますが、再生紙を使わなければならない現状をご理解いただければと思います。

○委員：

- ・ 用紙の持ち込みが出来ればよいですね。

○委員：

- ・ 意見があったということで、検討課題として取り上げていただければありがたいです。

○委員：

- ・ 配布したチラシはNIMICの取り組みです。
- ・ SDGs を多文化共生とか人権とか町づくりとかの視点で、若い人対象で開く講座です。若い人になかなか情報が広がらないので、大学、高校にも配布していますが、ポイントで声を掛けるのが一番効果的だと思うので、よろしかったらお声掛けをお願いします。

○副会長：

- ・ 児童書の市民配布について、市民からの情報があり、市民配布の中に充分利用できる美しい本で児童書のシリーズ本の1冊があったそうです。除籍した児童書は学校や児童施設に配布されると思いますが、それに漏れていたのではないかという話がありました。

○館長：

- ・ 汚破損などがある資料は除籍し買い替えたり、利用がなくなった資料などは利用頻度や複本の有無も考慮し、書庫で保存したり、除籍する場合があります。
- ・ 除籍した児童書は、学校、保育園、児童館などに配布していますが、それでも残ってしまったものは 図書館入り口の市民配布コーナーでみなさんに使ってもらう流れになっています。そのお話のきれいな本がそのまま市民配布に流れることはないはずですが、詳細がわかれば状況が説明できると思います。

○副会長：

- ・ コロナの中で学校や保育園に見ていただけなかったのでしょうか。

○館長：

- ・ 人数制限を設けた団体配布だったので、時間内で目に留まらないとか、その日に来られなかった先生方はいたかもしれません。

○館長：

- ・ 配布資料の通り、第2回臨時会の日程変更があります。8月は開催せず、9月9日に変更しました。
- ・ 次回は、視察先や日その時について、大まかな希望をお聞きしたいと思います。

○会長：

- ・ それでは、会議録の修正と評価について、よろしくをお願いします。

次回、第2回定例会 7月22日（金）14時～16時